

夜景きれいな出会いの場

八幡山ロープウェイ「恋人の聖地」に



「恋人の聖地」のプレートが設置された八幡山の展望台＝近江八幡市宮内町

近江八幡市の八幡山ロープウェイが「恋人の聖地サテライト」に選ばれ、聖地を示す銘板が山頂の展望台に設置された。山頂一带はこの2月から婚活イベントに利用されており、出会いの場にふさわしい評価を手にした。

銘板は縦28センチ、横40センチ。そばには絵馬掛けがあり、ハートなどの形をした八幡瓦に願いを書き込んだ札をつるすことができる。選定を機に絵馬掛けの増設を予定している。

山には城の石垣や寺があることから、高齢の利用客が多い。運営する八幡山ロープウェイ支配人の前河龍義さん(57)は「景色がよく夜景もきれい。婚活イベン

トは今度で3回目。プロポーズの場にふさわしくなった」と聖地入りの効果を期待している。

聖地プロジェクトはNPO法人の地域活性化支援センター(静岡市葵区)が2006年から実施。全国の観光地から127カ所のロマンチックな場所を選び、地域の魅力づくりなどに役立ててきた。「サテライト」はこれに加え、活動趣旨に賛同する企業・団体の施設・スポットから選ばれ、全国に59カ所ある。県内では「びわ湖バレイ・打見山頂」「名神高速道路・大津SA」と、サテライトに「琵琶湖汽船 外輪船ミシガン・客船ビアンカ」が選ばれている。